

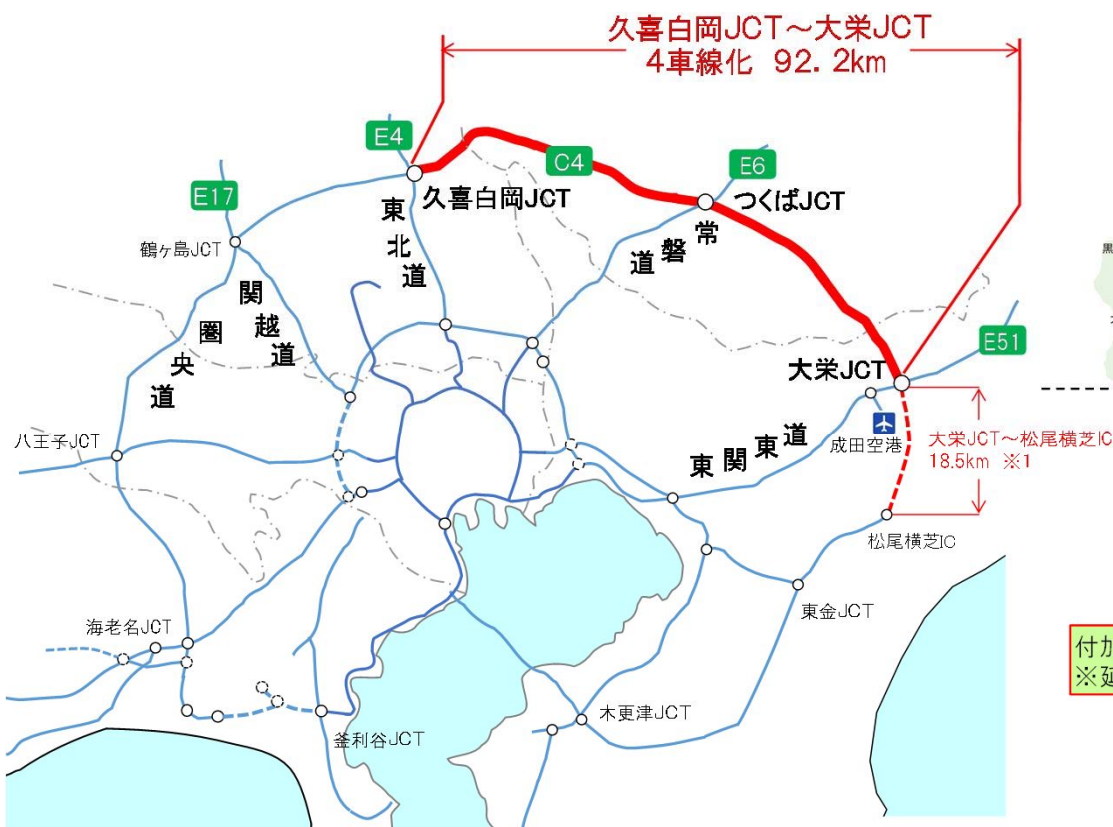
中期経営計画の見直しに係る主な取組み

新たな事業への取り組み

NEXCO

- ◆ 圏央道4車線化等の整備を推進します。
- ◆ 重要インフラの緊急点検を踏まえ、道東道等の暫定2車線区間における付加車線事業を推進します。

圏央道(久喜白岡JCT～大栄JCT)4車線化事業



※1 有料事業費を変更し、整備を加速する区間

重要インフラ緊急点検を踏まえた付加車線事業



NEXCO東日本	
高速自動車国道	営業中
一般有料道路	営業中
新直轄	供用中
その他	供用中
インターチェンジ (IC)	建設中
インターチェンジ (IC) (建設中)	建設中
ジャンクション (JCT)	建設中
ジャンクション (JCT) (建設中)	建設中

※建設中区間のICおよびJCTは、すべて仮称

安全・安心対策の推進

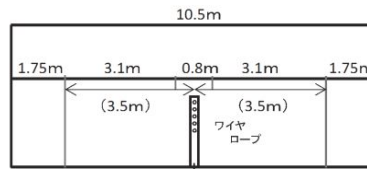
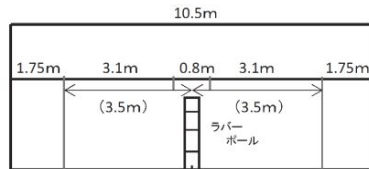
◆対面通行区間の重大事故削減に向け、更なる正面衝突事故防止対策の実施を推進します。



対策前
(ラバーボール)



対策後
(ワイヤロープ)



正面衝突事故防止対策の実施

○2018年度までに、約126kmの対策を完了

道路名	対策延長	道路名	対策延長
道央道	21.0km	東北中央道	10.0km
道東道	12.5km	その他 路線	16.7km
秋田道	25.0km		
日本海東北道	26.0km		
磐越道	14.5km	合 計	125.7km

▲2018年度までに完了した対策箇所一覧

○2019年度以降、さらに約170kmを対策予定

◆交通規制中事故の削減のため、新たな技術や安全対策の導入を推進します。



▲交通規制内への侵入による事故の状況



▲新たな安全対策の導入の一例

危険車両侵入検知システム

- 規制内最大2kmの範囲を無線ネットワーク化
- 衝撃検知センサが異常を検知し、瞬時に路上作業員にアラーム音で危険を通知
- 路上作業員の安全確保を支援

冬期交通の確保、防災・減災対策の強化

NEXCO

◆大雪時においても道路ネットワーク機能への影響を最小化するため、監視カメラ・けん引車両の配備を増やし立ち往生車両の早期発見・移動及び関係機関と連携した取り組みにより、通行止めの最小化に努めます。



▲ 監視カメラの設置



▲ 登坂不能車両のけん引作業状況



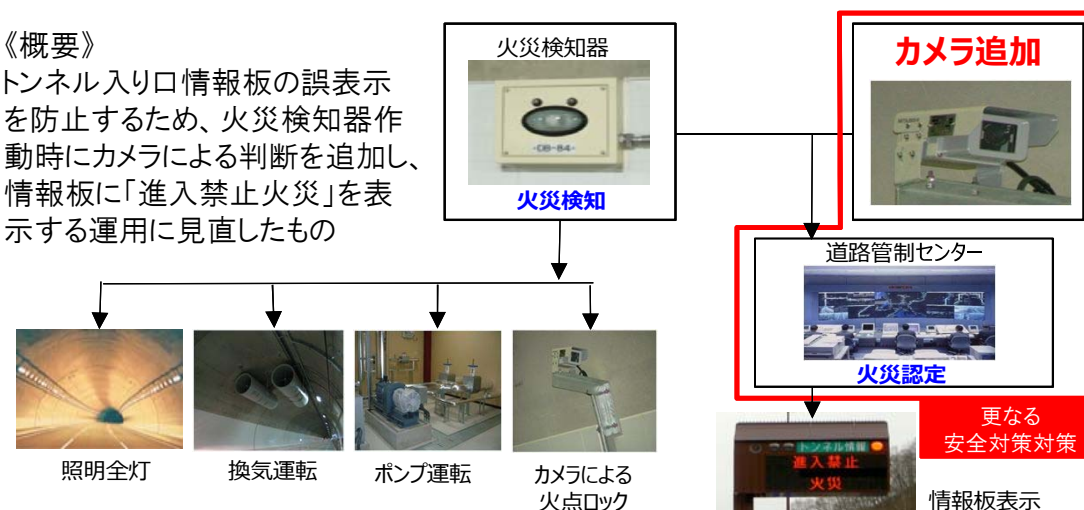
▲ 国道事務所との相互除雪支援訓練の状況

◆トンネル火災時における更なる安全対策としてカメラによる判断を追加し、火災の早期認定をします。

道路名	更なる安全対策を実施したトンネル数	道路名	更なる安全対策を実施したトンネル数
道央道	1	常磐道	6
道東道	5	富津館山道	1
東北道	4	北関東道	4
秋田道	4	長野道	2
山形道	2	北陸道	19
磐越道	7	圏央道	1
関越道	2		
上信越道	8	合 計	66

《概要》

トンネル入り口情報板の誤表示を防止するため、火災検知器作動時にカメラによる判断を追加し、情報板に「進入禁止 火災」を表示する運用に見直したもの



▲トンネル内火災早期認定のため新たにカメラを追加したトンネル一覧

▲トンネル火災の認定イメージ

持続可能な開発目標(SDGs)への貢献



◆当社グループはSDGsを支持し、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献します。

■グループ全事業を通じて貢献するSDGs

当社グループは全事業を通じて、目標3, 8, 9, 11の達成に貢献します。

また、あらゆるステークホルダーとのパートナーシップ(目標17)を大切にしていきます。



SDGs	3 すべての人に健康と福祉を	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう
当社の取組み	交通安全 健康経営	イノベーション 働き方改革 生産性向上	高速道路空間 の提供	地域と地域を つなぐ	連携・協働


■個別の取組みで貢献するSDGs

SDGs	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	7 清潔なエネルギーをみんなにそしてクリーンに	10 人や国の不平等をなくそう	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に
当社の取組み	人材育成、総合技術センターにおける研修等	女性活躍の推進等	環境マネジメント、太陽光発電等再生可能エネルギーへの取組み	SAのバリアフリー化、福祉との連携「高福連携」、ダイバーシティの推進等	統合報告書「NEXCO東日本レポート」発行等	雪氷対策の高度化、バイオマス発電等	生物多様性、山地生態系の保全、ロードキル対策等	コンプライアンスの推進等

(詳細は別表のとおり)

(別表)

NEXCO東日本グループのSDGsへの貢献と取組み

グループ経営理念				SDGs 国際社会共通の目標であるSDGsとNEXCO東日本グループの事業とを照合して、事業を通じて貢献できる目標を抽出しました。NEXCO東日本グループは全事業を通じてSDGsの目標3、8、9、11に貢献していきます。各事業を通じて貢献する目標は表のとおりです。また、全ての事業活動においてあらゆるステークホルダーとのパートナーシップ(目標17)を大切にしています。
中期経営計画 5つの基本方針	重点計画	主な目標	中期経営計画における 2017～2020年度の取組み	
安全・安心・快適・便利な高速道路サービスの提供		●安全を最優先にお客様が安心して利用できる高速道路サービスの提供 ・高速道路リニューアルプロジェクトの推進 ・SMH(スマートメンテナンスハイウェイ)の実現と資産健全性の確保 ・防災・減災の強化 ・交通事故の削減 ・車両制限令違反の抑制 ・雪氷対策の高度化	高速道路リニューアルプロジェクトを推進し、橋梁を始め必要な構造物の大規模更新・大規模修繕の取り組みを進めます。	    
		●高速道路ネットワーク整備と高速道路を賢く使うための機能強化の着実な推進	交通安全対策を実施し、死傷事故率の削減に取り組みます。	
		●お客様のニーズを踏まえた快適で便利な高速道路サービスの展開 ・円滑な交通確保 ・経路選択などの情報提供充実(ETC2.0データの活用) ・効率的で利便性の高い料金サービスの展開 ・商業施設の新設・増改築・老朽化更新の計画的な実施 ・ガスステーション営業体制の維持・強化、急速充電器の整備	付加車線事業などの渋滞対策を行い、渋滞による利用者の損失時間の削減に取り組みます。	
		●安全を最優先に、品質・コスト・生産性を追求し、維持管理しやすい高速道路づくり	雪に強い高速道路を構築し、冬季における通行止め時間の削減に取り組みます。	
		●地域社会への貢献 ・観光振興・東日本大震災復興支援 ・地域と連携した高速道路整備 ・自治体などへの技術支援	首都圏の高速道路ネットワークと、地方部のミッシングリンク解消に向けた整備を推進します。	
		●インバウンド、東京2020オリンピック・パラリンピック対応	4車線化の整備を推進し、安全性、快適性の向上に取り組みます。	
地域社会への貢献とインバウンド・環境保全への対応		●環境保全の推進	高速道路の機能の強化のため追加JCT・IC、スマートIC、新規SA・PAの整備に取り組みます。	     
		●環境保全の推進	地球環境保全、循環型社会形成、沿道環境の保全の取り組みを推進します。	

社会課題への貢献
持続的な企業価値の向上

(別表)

NEXCO東日本グループのSDGsへの貢献と取組み

グループ経営理念				SDGs 国際社会共通の目標であるSDGsとNEXCO東日本グループの事業とを照合して、事業を通じて貢献できる目標を抽出しました。NEXCO東日本グループは全事業を通じてSDGsの目標3、8、9、11に貢献していきます。各事業を通じて貢献する目標は表のとおりです。また、全ての事業活動においてあらゆるステークホルダーとのパートナーシップ(目標17)を大切にしています。
中期経営計画 5つの基本方針	重点計画	主な目標	中期経営計画における 2017～2020年度の取組み	
社会に貢献する技術開発の推進	<p>●安全を最優先とした業務の高度化・省力化につながる技術開発(ICT、AI、IoT、ビッグデータなどの活用)</p> <p>・SMHの実現、交通安全、雪氷対策の高度化のための技術開発</p> <p>・新たな車両技術の活用(自動運転技術の活用検討)</p> <p>・NEXCO東日本 総合技術センターの整備・活用による技術開発の推進</p>	イノベーション	SMHを実現する技術開発として、点検の機械化、損傷の定量化に取り組みます。	 
			交通安全に寄与する技術開発として、暫定2車線区間における正面衝突などの重大事故の防止に取り組みます。	
			雪氷対策の高度化のための技術開発として、除雪車両への準天頂衛星の活用などに取り組みます。	
関連事業の収益力強化	<p>●経営資源の最適な活用により、お客さまサービスと企業価値を向上させるとともに、さらなる効率化により収益力を強化</p> <p>《SA・PA事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> SA・PAの魅力向上のための施策の実施 商業施設の効率的な運営 <p>《その他事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> 展開している事業の収益力強化 未利用地の利活用 新たな事業の創造 海外事業の推進 	SA・PA事業などの収益力強化	SA・PAにおける商業施設を効率的に運営し、収益力を強化します。また、新たな事業を創造し、サービスの開発・拡張を行います。	 
		海外事業の展開	NEXCO東日本グループの保有する技術を海外に展開します。	
グループ全体の経営力強化	<p>●グループ経営の高度化を追求</p> <p>●内部統制、人材確保・育成、生産性向上など</p> <p>・内部統制システムの一層の強化・充実</p> <p>・人材の確保・育成と「やりがい」「満足感」を実感できる環境づくりの推進</p> <p>・NEXCO東日本 総合技術センターの整備・活用による現場対応力などの向上</p> <p>・E-Shokubaづくり運動(健康経営の推進)・女性活躍推進</p> <p>・業務の最適化、生産性向上の推進</p> <p>・企業ブランドの向上</p>	CS(お客様満足)	グループ一体となって、お客さまに安全・安心・快適・便利な道路空間を提供できるよう、走行快適性の向上や休憩施設の充実を図り、お客さまの満足度の向上を目指します。	  
		ガバナンス	内部統制システムの一層の強化・充実、リスクマネジメント及びグループ一体となったコンプライアンスを推進します。	
		働き方改革のより一層の推進	社員がいきいきと仕事をし、「やりがい」や「満足感」を実感できる環境づくりに取り組みます。	

社会課題への貢献
持続的な企業価値の向上